

同時資料提供
大阪府政記者会
大阪経済記者クラブ
大阪商工記者会

お問合せ先	大阪府商工労働部 (大阪産業経済リサーチセンター) 経済リサーチグループ 山本(敏)、小川 Tel: (06) 6947-4363 E-mail: shorosomu-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp
-------	---

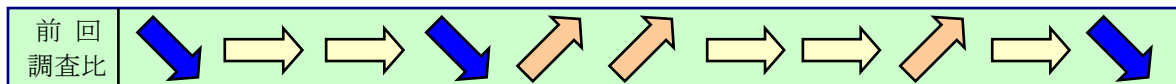
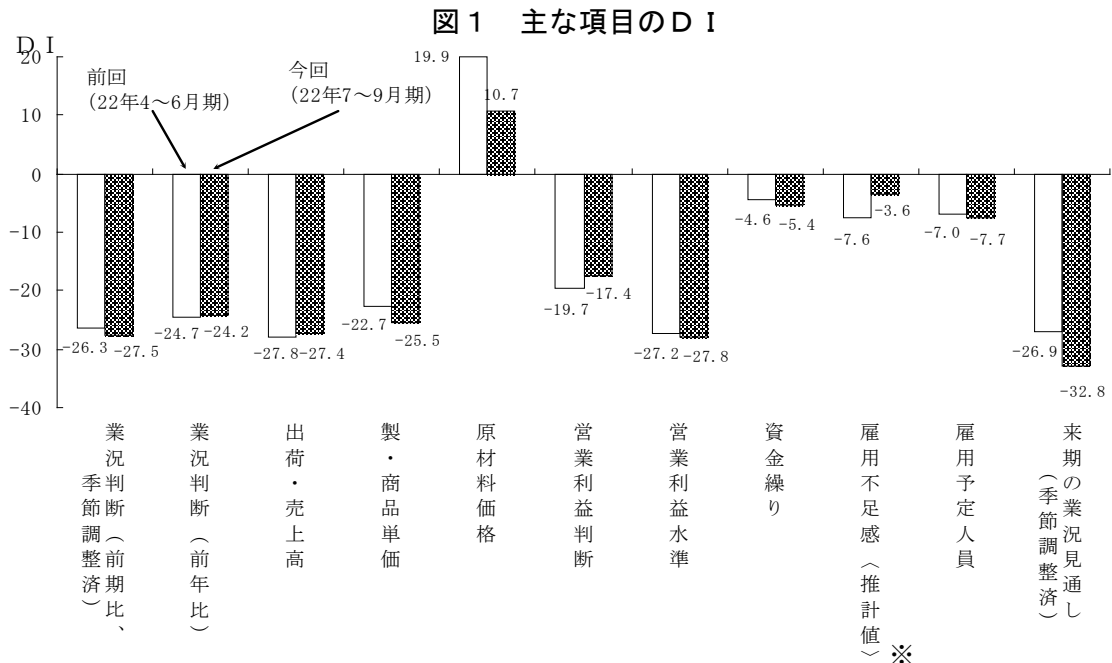
## 大阪府景気観測調査結果（平成22年7～9月期）

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成22年7～9月期の調査結果の概要は次のとおりです。

なお、大阪市景気観測調査結果については、大阪市経済局のウェブサイト <http://www.city.osaka.lg.jp/keizaikyoku/page/0000002583.html> をご覧ください。

### 景気は持ち直し傾向が続くものの、やや一服感がみられる

業況判断D Iのマイナス幅は拡大に転じた。原材料価格D Iが引き続きプラス、営業利益判断D Iはマイナス幅の縮小が続くものの、出荷・売上高D Iや営業利益水準D I、資金繰りD I、雇用不足感（推計値）は横ばい、製・商品単価D Iは低下に転じた。なお、来期の業況見通しは、やや弱含みの見通し。



※詳しくは8ページの（注）をご覧ください。

## [調査の方法]

1. 調査対象：府内の民営事業所  
(農林漁業、鉱業、電気・ガス・熱供給業、金融・保険業及びサービス業の一部を除く。)
2. 調査方法：郵送自記式アンケート調査
3. 調査時期：平成22年9月上旬
4. 回答企業数：1,752社

### 業種別回答企業数内訳

	業種別 企業数 (社)	従業者規模構成比 (%)				
		19人以下	20～49人	50～99人	100～ 299人	300人以上
製造業	574	42.2	27.8	15.3	10.0	4.7
非製造業	1,178	61.5	17.2	8.4	7.6	5.2
建設業	171	72.3	13.9	6.0	4.2	3.6
情報通信業	39	33.3	25.6	12.8	15.4	12.8
運輸業	74	41.2	19.1	23.5	13.2	2.9
卸売業	293	56.0	23.7	9.6	4.8	5.8
小売業	207	76.1	13.4	3.5	3.5	3.5
不動産業	59	84.5	12.1	1.7	0.0	1.7
飲食店・宿泊業	70	72.7	7.6	4.5	7.6	7.6
サービス業	265	51.0	17.0	10.4	15.1	6.6
全業種計	1,752	55.1	20.7	10.7	8.4	5.1

### 規模別回答企業数内訳

	企業数 (社)	構成比 (%)
大企業	162	9.4
中小企業	1,555	90.6
不明	35	

### 地域別回答企業数内訳

	企業数 (社)	構成比 (%)
大阪市地域	931	53.1
北大阪地域	176	10.0
東大阪地域	332	18.9
南河内地域	64	3.7
泉州地域	249	14.2

1. 構成比(%)は、無回答を除いた有効回答企業数をもとに算出している。
2. 従業者数300人以上の企業を大企業とする。ただし、卸売業、サービス業は100人以上、小売業、飲食店・宿泊業は50人以上を大企業とする。
3. 本調査は平成2年に開始し、4年7～9月期以降は四半期ごとに実施している。

DIは「上昇又は増加等の企業割合(%)」から「下降又は減少等の企業割合(%)」を差し引いたもので、プラスは上昇・増加・黒字基調・順調等の企業割合が上回り、マイナスは下降・減少・赤字基調・窮屈等の企業割合が上回ったことを示す。

[調査結果]

1. 企業の業況判断 … 大企業、製造業でマイナス幅が拡大

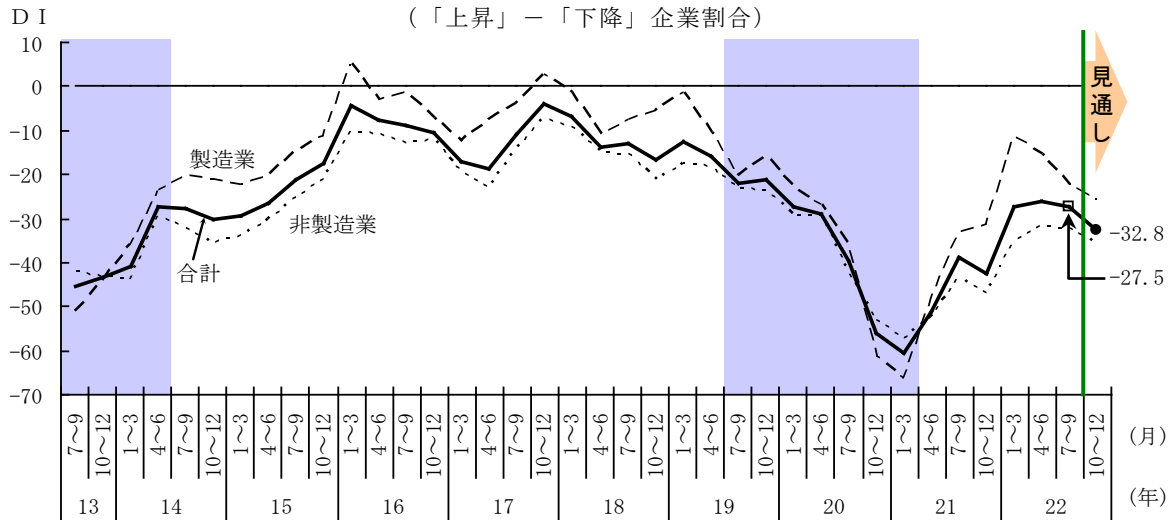
■平成22年7～9月期の業況判断D I（「上昇」－「下降」企業割合；前期比、季節調整済）  
： -27.5

○前回（22年4～6月期）調査比：▲1.2pt

製造業	▲6.9pt	非製造業	▲0.4pt
大企業	▲5.8pt	中小企業	▲0.5pt

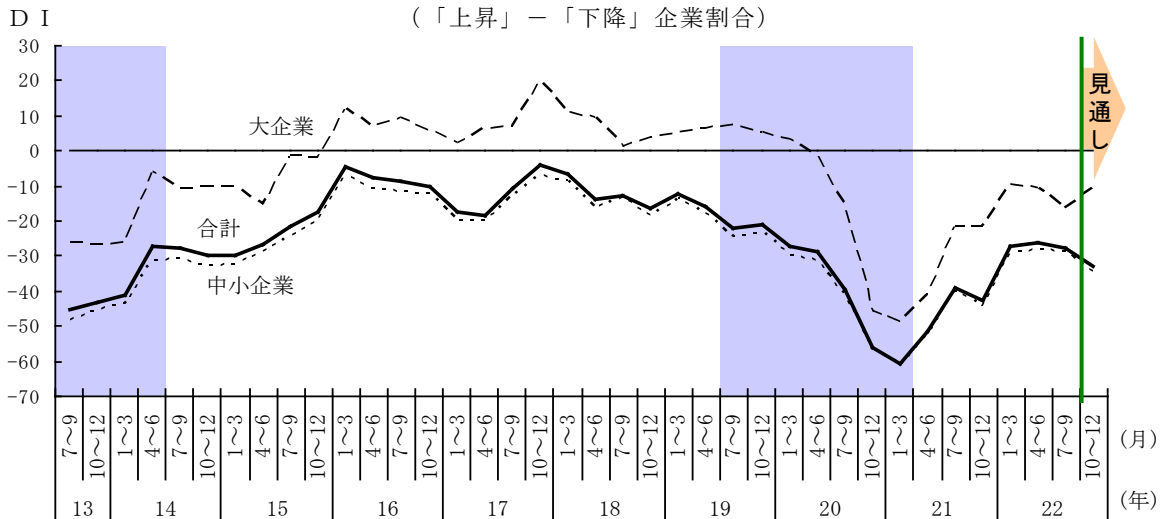
（注）▲はマイナス、pt はポイントを表す

図2 業況判断D Iの推移（前期比、季節調整済、製造業・非製造業別）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

図3 業況判断D Iの推移（前期比、季節調整済、大企業・中小企業別）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

■業況判断（前期比）の前年同期調査比

上昇要因	「季節的要因」「他社との競合状況」「輸出の回復」などが増加
下降要因	「他社との競合状況」「季節的要因」「輸出の減退」などが増加

図4 上昇となった要因（2つまでの複数回答）

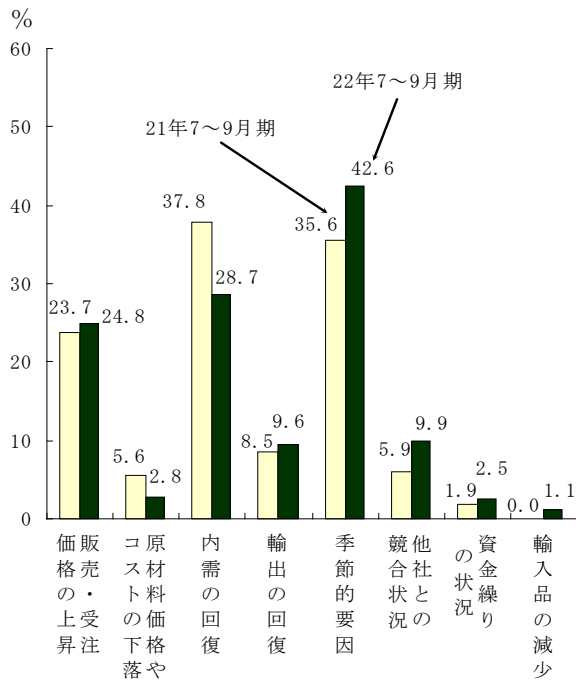
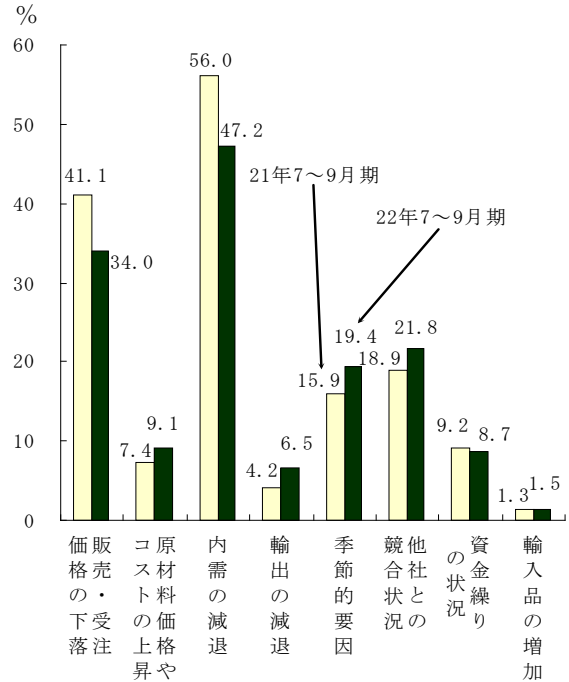


図5 下降となった要因（2つまでの複数回答）



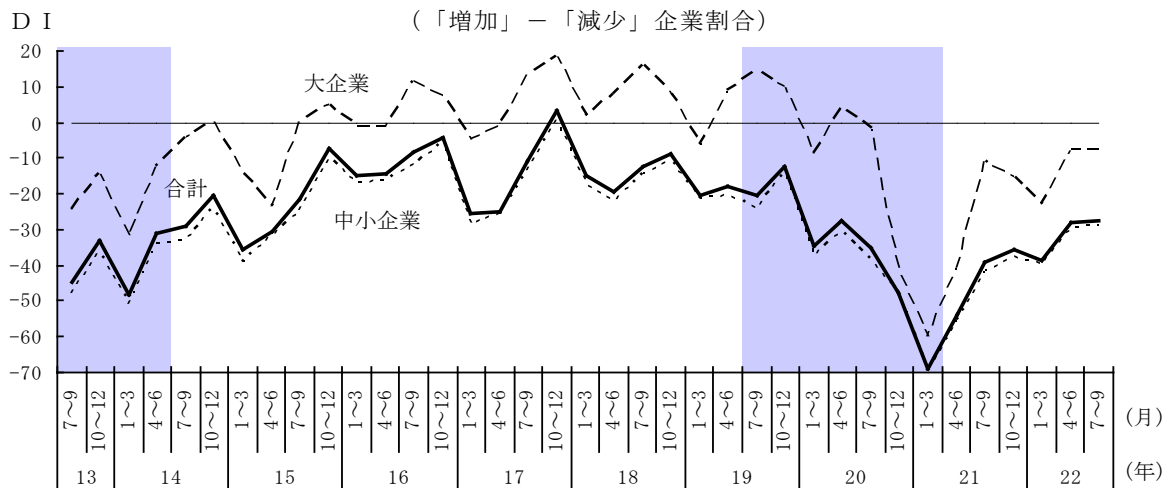
2. 出荷・売上高 … 持ち直しのペースは緩んでいる

■出荷・売上高D I（「増加」－「減少」企業割合）：－27.4  
 ・前年同期調査比：11.9pt

○前回調査比：0.4pt

製造業	0.8pt	非製造業	0.6pt
大企業	▲0.3pt	中小企業	0.6pt

図6 出荷・売上高D Iの推移（大企業・中小企業別）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

### 3. 製・商品単価及び原材料価格 … 製・商品単価、原材料価格ともに3期ぶりの低下

■製・商品単価D I（「上昇」-「下落」企業割合）：-25.5

○前回調査比：▲2.9pt

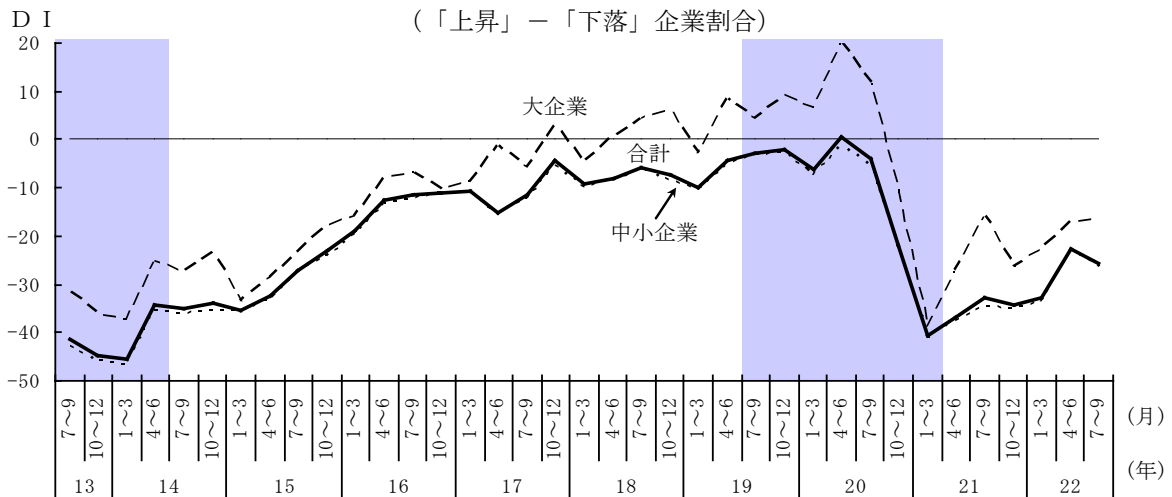
製造業	▲0.4pt	非製造業	▲3.8pt
大企業	0.4pt	中小企業	▲3.3pt

■原材料価格D I（「上昇」-「下落」企業割合）：10.7

○前回調査比：▲9.1pt

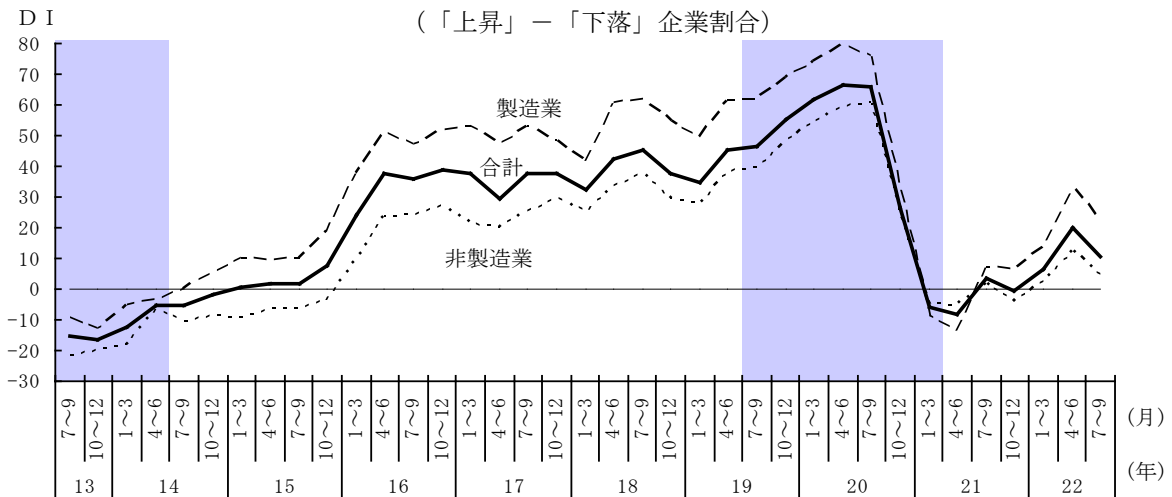
製造業	▲10.6pt	非製造業	▲7.6pt
大企業	▲3.9pt	中小企業	▲9.6pt

図7 製・商品単価D Iの推移（大企業・中小企業別）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

図8 原材料価格D Iの推移（製造業・非製造業別）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

#### 4. 営業利益判断、利益水準 … 利益判断・水準とも持ち直しの方向に一服感

■営業利益判断D I（「黒字」－「赤字」企業割合）：－17.4

○前回調査比：2.2pt

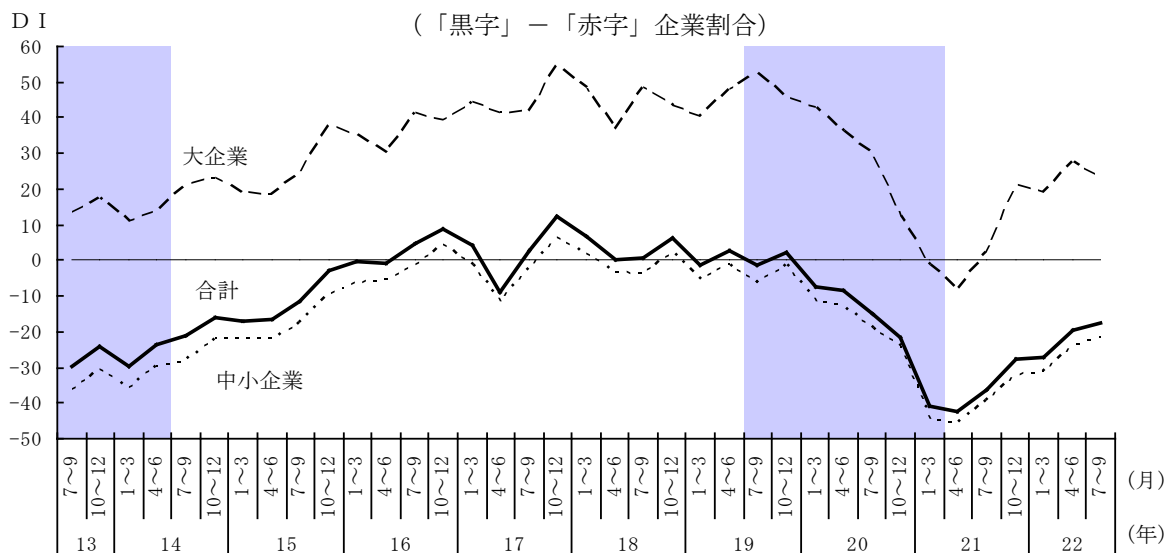
製造業	1.9pt	非製造業	2.7pt
大企業	▲4.9pt	中小企業	2.2pt

■営業利益水準D I（「増加」－「減少」企業割合）：－27.8

○前回調査比：▲0.6pt

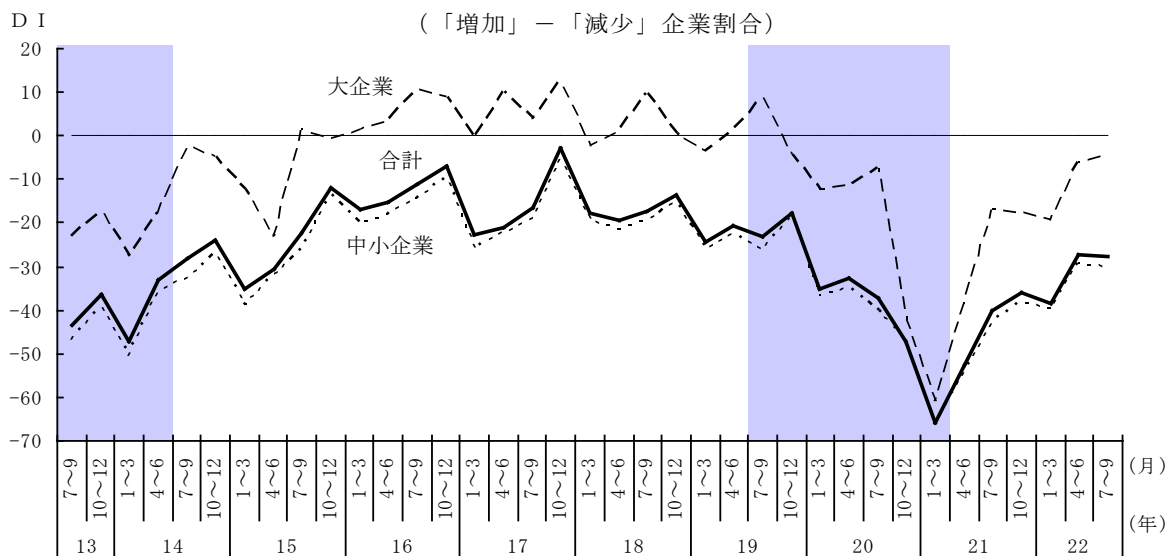
製造業	0.5pt	非製造業	▲1.0pt
大企業	1.8pt	中小企業	▲0.7pt

図9 営業利益判断D Iの推移（大企業・中小企業別）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

図10 営業利益水準D Iの推移（大企業・中小企業別）



※シャドー部分は大阪産業経済リサーチセンターが設定した景気後退期を示す。

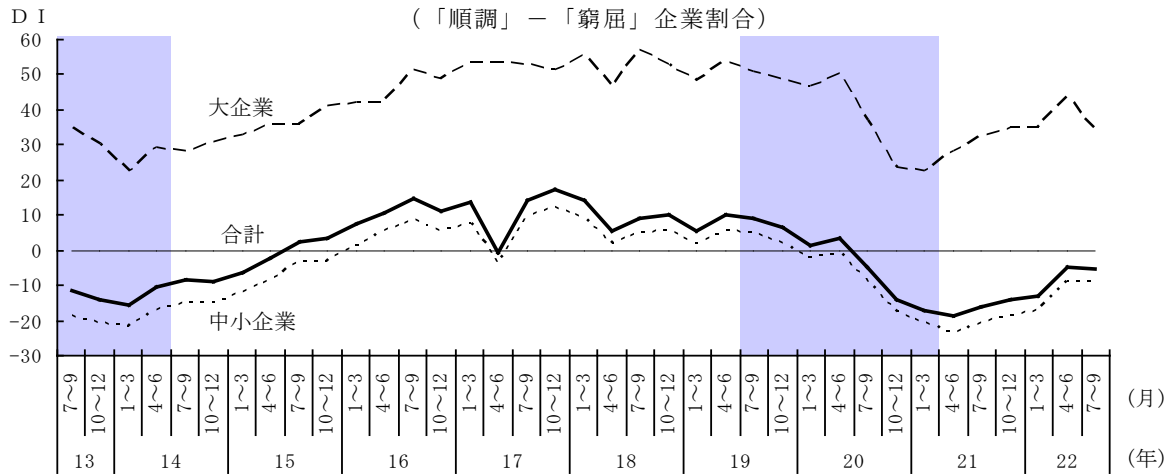
## 5. 資金繰り … 改善傾向は一服

■資金繰りD I（「順調」－「窮屈」企業割合）：－5.4

○前回調査比：▲0.8pt

製造業	▲3.1pt	非製造業	0.8pt
大企業	▲10.0pt	中小企業	0.0pt

図11 資金繰りD Iの推移（大企業・中小企業別）



## 6. 設備投資 … 引き続き下げ止まっている

■設備投資

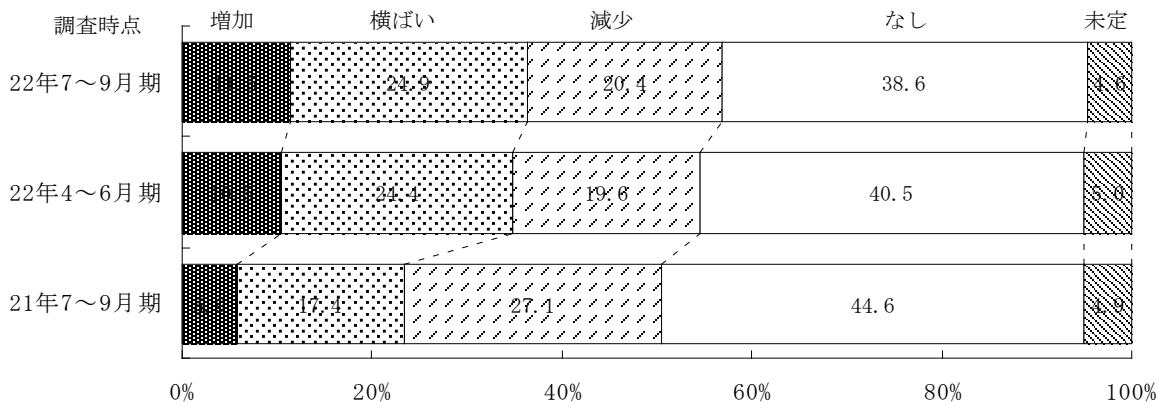
○前回調査比

増加	横ばい	減少	なし	未定
1.0pt	0.5pt	0.8pt	▲1.9pt	▲0.4pt

○前年同期調査比

増加	横ばい	減少	なし	未定
5.6pt	7.5pt	▲6.7pt	▲6.0pt	▲0.3pt

図12 設備投資（前年度実績と今年度見込みとの比較）

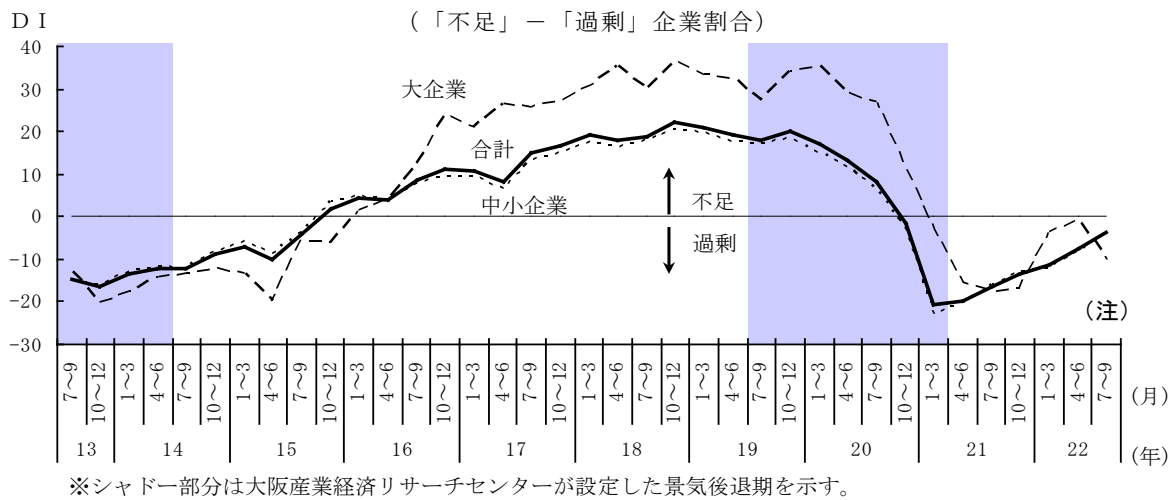


## 7. 雇用状況、雇用予定人員 … 雇用予定人員は2期連続の減少

■雇用不足感D I (22年7～9月期の「不足」－「過剰」企業割合)：－3.6 (推計値)

○前回調査比：4.0pt

図13 雇用不足感D Iの推移(大企業・中小企業別)



(注) 今期(平成22年7～9月期)のD Iについて

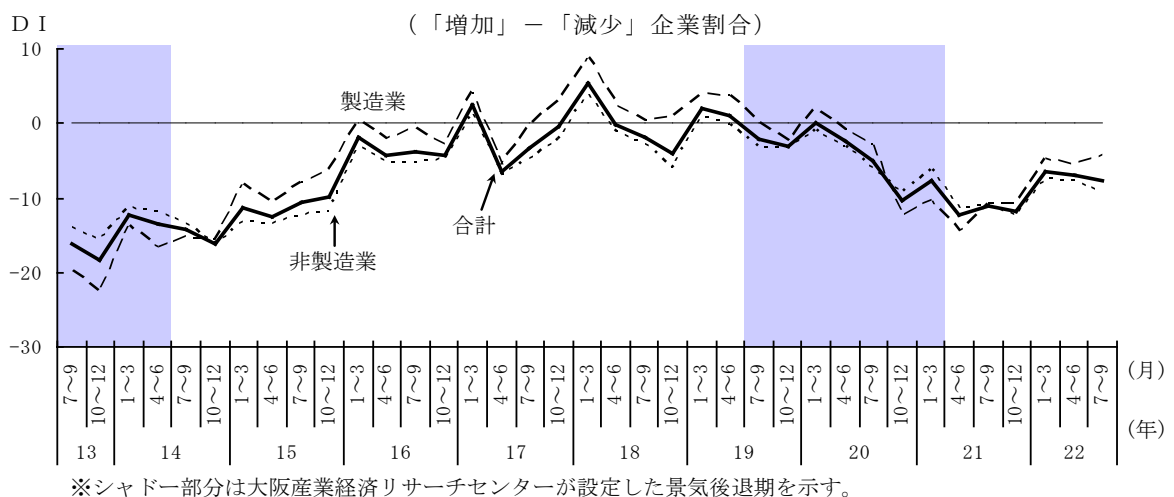
今期の雇用状況の調査では、調査票の一部に誤った選択肢があったことにより誤差が生じている

可能性が高いため、過去のデータ分析を踏まえた推計値(暫定)を掲載している。

■雇用予定人員D I (22年7～9月期の「増加」－「減少」企業割合)：－7.7

○前年同期調査比：▲0.7pt

図14 雇用予定人員D Iの推移(製造業・非製造業別)



## 8. 来期の業況見通し … やや弱含みの見通し(図2参照)

■22年10～12月期の業況見通しD I(「上昇」－「下降」企業割合、季節調整済)：－32.8

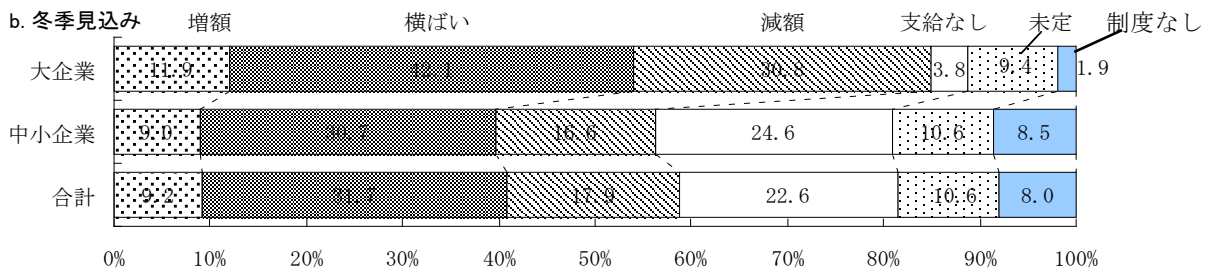
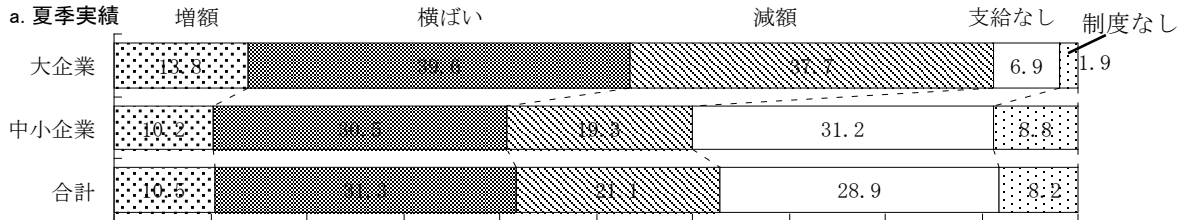
○今期業況判断(季節調整済)比：▲5.4pt

(注) 四捨五入により、少数点以下の数字がD I推移表と一致しない場合がある。

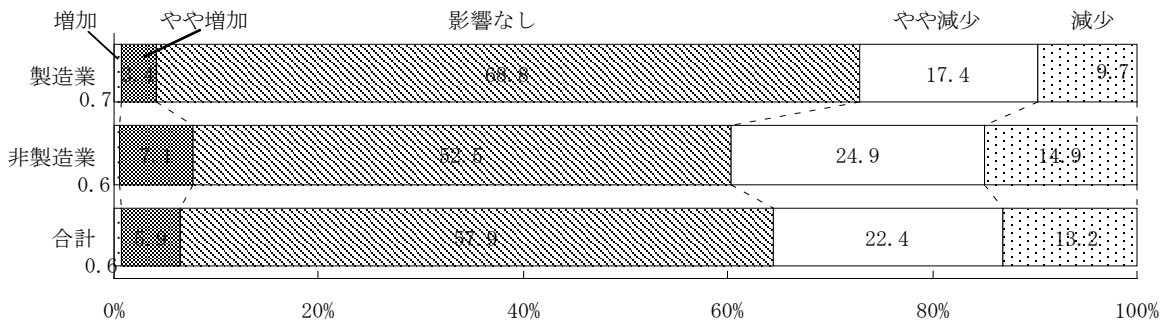


## 9. 22年の賞与実績・見込み、猛暑の売上高への影響、人材育成の課題

### ■ 22年の夏季・冬季賞与の実績・見込み（前年比較）

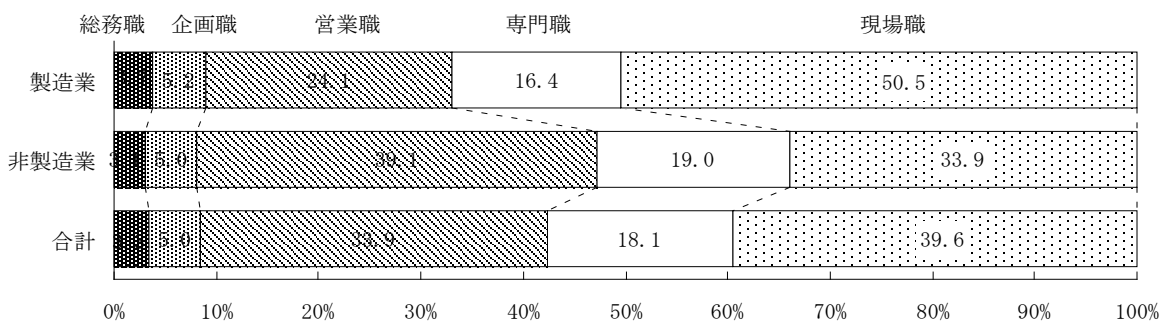


### ■ 今夏猛暑の売上高への影響



### ■ 人材育成の課題について

#### ① 人材育成で課題となっている職種



#### ② 人材育成で課題となっている職階

